

# 瓦じゃーなる no.10

発行:日経工務店有限会社  
2018年2月2日(金)

こんにちは、おかだです。寒い日が続いて、毎日、暖くなる日が待ち遠しいです。お便りを定期的にかきたいのですが、間が空いてしまいました。



先日、昔から知り合いの先輩から、屋根の修繕を依頼され、工事をさせていただきました。先輩の友人の借家（以前住んでいた）と親しくされているお隣のご夫婦のお家、2件の修繕でした。工事自体は、難しいものではなかったのですが、工事にあたって、大変だったのは、隣にあった、モータープールの車の移動で（落下物防止のため）移動する駐車場の確保から、当初、駐車しているモータープールのオーナーさん、駐車されている方々の連絡などで、どの人がどの人かわからなくなっていました。先輩や先輩の友人のお母様に連絡を取り合ってもらい無事、終わることができました。また自分一人で、連絡しても、邪険にされたり、憤慨されていたかたも、先輩の友人のお母様が、間に入って一役かってくれたおかげで、前と打って変わって話がスムーズにいき、自分の口下手さ加減につくづく、申し訳ない思いでした。



その分施工で挽回しようと思い頑張りました。実際工事中、凍えるくらい寒かったですが、みんな鼻水をすすりながら、きれいに納めてくれました。

友人のお母様も、お隣のご主人と奥様も喜んでいただいて、うれしかったです。お隣のご主人は、某放送局に長い間、勤められていて、桂文枝さんや北野 武さんなど著名な方々とお仕事をされていてお話の内容が面白く、とても興味ぶかかったです。奥様も気さくな方でご主人となががよく、いいご夫婦だなあとおもいました。



## 蔵壁の塗り替え

これから、漆喰壁の塗り替え工事をさせていただく蔵です。この蔵は、明治に建てられた建物でこめぐらだそうです。少し高さが低く、どしとした、感じで換気口に花柄の形があしらわれていたり、当時の意匠が、いい感じです。この蔵を建てる際にご主人の曾おじいさんが記帳した当時の建設費用の台帳を拝見させていただきました。達筆な文字で板一枚の材質から単価まで克明に記載されていて、当時の貴重な資料に驚かされました。総費用から、今の費用に換算して（約20倍）とすると、豪邸が建てれる金額となっていて、当時と同じ工法で一から建てるのとそれくらいは費用は今でもかかるのではないかなと思ひ不思議な感じでした。それだけ価値のある建物で、先々代のご主人から、綺麗にメンテナンスされている様子が、うかがえます。今回は、白壁の塗り替えですが、今までの塗り替えの工程に、一工程、増やして 白壁が少しでも、長くもつようさせていただきたいと、思っています。



## 名古屋城



先日、名古屋に用事でいったついでに名古屋城に行ってきました。何度か、訪れているのですが、本丸御殿やお城の中にある資料館など、あまり見てなかったのゆっくり拝観してきました。本丸御殿は、総檜作りで建具や欄間、床の間など豪華絢爛ですが、新しすぎるのと同じ間取りの部屋ばかりなので、それほど興味はわかかなかったですが、お城の中の資料館には、修復した時の図面や、屋根の組み方や石垣の反りの出し方を記した資料がたくさんあり、まじまじとみてしまいました。それと、当時の城下町を再現し当時の人の暮らしを再現したセットがありを日の出から日没まで、照明で演出していてリアルに体感できて、面白かったです。街灯や照明器具のない時代は暗すぎて不便ですけども、蠟燭の灯りだけの雰囲気、いい感じで新鮮でした。また、天守閣からの眺望は、四方、名古屋の街を見渡せて、殿様気分をあじわえます。



## 浴室改修工事



昨年の暮れになるのですが、以前、外壁を改修させていただいた際、外壁の一部が風船のように膨らんでいたの、原因を調べるとお風呂場からの漏水でした。浴室の脱衣場の間取りもL字型で、あまり、使い勝手が、よくなかったの、防水と間取りの整形を兼ねてユニットバスに置

き換えさせていただきました。ユニットバスはカタログを基に自分が提案させていただき、色目など詳細は、ご姉弟のお姉さまに決めていただきました。ショールームに足を運んでいただくのは、お手間だったので、自分が何度か浴槽（サイズ、形）を確認したものの身長が、ご姉弟とも高かったの、設置できるまで心配でした。工事は、完成し、お風呂も使っていて、ありがたいのですが、自分にとっては、いい教訓になる工事でした。工事にかかる前の段階で、喜んでいただけるようにあれこれ考え準備をしてました。実際、解体すると壁に面した柱が、思いのほか腐りがはげしかったり、L字型の壁の中に補強の必要な柱が隠れていたり、と ということは、よくあるので対応するのは、簡単なのですが、困ったのは、ユニットバスの発注先が、間違った発注（扉の位置）をしたことでした。工事自体は、どんなことがあっても対応できるのですが、発注のミスは、今までなかったので予想外でした、事前に確認を何度もとっているにもかかわらず、お詫びの返事しか返ってこないのは、とても歯がゆかったです。無事浴槽は設置できましたが、今後、このようなことが無いように、しつこいくらい、確認をとるよう心掛けたいです、幸い、お風呂は、喜んでいただけたので、ほっとしました。





職人さんの

道具箱



去年の暮、建具（掃き出し窓）を新調させていただいた際、立て付けに来てくれた職人さんの使っていた鑿です。お年頃は、70代前半ですが、力も強く、腕もいいです。

この鑿もあと少しで鋼が、なくなり鑿として役割をはたさなくなります。一見、けちくさく、見えますが、最後まで大事に使い切るという感覚が、少し前の職人さんはあるってそういった職人さんが、こういった改修や修繕に向いているとおもいます。慣れているということもあるのですが、材料やもの扱い方が少し違うような気がします。以前、お客さんが、「物を大事にあつかう人は、人も大切にされる」とおっしゃってましたが、確かに皆さん、人柄が良く、話をしてもよくわかります。すこし短くなったら新しい物に変えてしまうというのも

悪いわけではないですが、鑿に関していうと半分くらい以降が、鋼が固く、またサイズ的にも使いやすくなります。この鑿もここまで、使ったら喜んでいただくと、思いました。